

議会報告会を開催しました(13ページ参照)



平成26年5月14日(水) 旧庁舎ホール



平成26年5月17日(土) 中富南コミュニティセンター

CONTENTS —おもな内容—

	ページ
◆第2回(6月)定例会 議会の新役員構成を決定しました……………	2
◆おもな議案の概要 ほか……………	3～5
◆議案に賛成・反対します、本会議において賛否が分かれた審議結果…………	6
◆市政に対する一般質問……………	7～12
◆議会報告会の内容をお知らせします……………	13
◆議員の紹介、永年勤続議員が表彰されました……………	14～15
◆可決された意見書、閉会中の議会活動、市議会ココ3か月……………	16

♻️ 本紙は古紙再生紙を使用しています。

●市議会ホームページアドレス <http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>
→「市議会」をクリック

平成26年 第2回定例会 (6月6日～6月27日) の内容をお知らせします

質問・答弁は要旨を掲載しています。

なお会議録は作成後、

- ・市議会ホームページ
- ・市立図書館
- ・市役所1階市政情報センターほかで閲覧できます。

平成26年 第2回(6月)定例会 議会の新役員構成を 決定しました



議長就任のあいさつ

この度、第60代議長に就任しました。微力ですが、議員、執行部をはじめ多くの方のご指導とご協力をいただきながら、公平かつ円滑な議会運営に努め、市民の皆さまの負託に応えられるよう誠心誠意、責務を果たして参ります。

さて、本市議会は、議員自らが調査、議論を行い、平成21年に議会基本条例を制定し「議会の見える化」を目指しさまざまな取り組みをして参りました。私たち議員は、4年に1回有権者の審判を受けます。それが来年です。現在、議員定数は36人ですが、議会の附属機関として「市議会議員定数のあり方に関する審議会」を設置し、答申をいただき審議して条例改正をしました。平成27年4月実施の市議会議員選挙では、定数が33人となります。こうした取り組みも含め参考にと、全国の市議会が視察に訪れ、これまで198もの議会を受け入れています。また、現在、より市民の皆さまの負託に応えられる内容にしたいと、「議会報告会」「政策討論会」の内容の見直しに取り組んでいるところでございます。

引き続き、市民の皆さまには、市議会に対し深いご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます、就任の挨拶といたします。



第60代議長
浅野 美恵子
(至誠クラブ：3期)



第61代副議長
中 毅志
(自由民主党・無所属の会：3期)

平成26年第2回(6月)定例会は、6月6日から27日までの22日間の会期で開催しました。

本会議初日、議長選挙が行われ、投票の結果、久保田茂男議員(自由民主党・無所属の会：4期)が当選し、第59代議長に就任しました。続いて行われた副議長選挙では、浅野美恵子議員(至誠クラブ：3期)が当選し、第60代副議長に就任しました。

なお、本会議最終日前日、久保田議長から議長職の辞職願の提出があり、最終日に議長選挙が行われました。投票の結果、浅野美恵子議員(至誠クラブ：3期)が当選し、第60代議長に就任しました。続いて行われた副議長選挙では、中毅志議員(自由民主党・無所属の会：3期)が第61代副議長に当選しました。

今回の定例会では、正副議長選挙のほか、常任委員会委員、議会運営委員会委員、広聴広報委員会委員の選任などが行われました。
(詳細は14・15ページ参照)
また、監査委員の退職に伴い、後任委員の選任の同意を求め、議案が市長から提出され、村上浩議員(公明党・3期)の選任に同意しました。さらに、農業委員会委員が7月19日に任期満了になることに伴い、荒川広議員(日本共産党・8期)、杉田忠彦議員(至誠クラブ・2期)、越前部征衛議員(自由民主党・無所属の会・4期)を推薦しました。

久保田茂男議員が 逝去されました



久保田茂男議員が、去る6月28日急逝されました。

久保田議員は、平成11年4月に初当選以来、4期15年にわたり議員

活動に精励され、正副議長をはじめ議会運営委員会委員長など多くの役職を歴任されました。また、それらの地方自治の功労に對して、永年勤続議員として全国市議会議長会などから表彰されました。

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。

議案 21件

を可決しました おもな議案の概要



市長からは、専決処分の承認2件（一般会計補正予算、特別会計補正予算）、補正予算1件、所沢市地域がつながる元気な自治会等応援条例制定を含む条例関係9件、追加議案3件など計21件の議案が提出され、すべて可決しました。

議員からは、「手話言語法制定を求める意見書」が提出され、可決しました。

市長提出議案

建設水道常任委員会

◎所沢市下水道条例の一部改正

国土交通省で定める標準下水道条例が一部改正されたことから、水道水以外の水を排除する等の使用態様の変更を把握し、適正な使用水量の認定を行うため条例の改正を行うものです。

問 所沢市や他の自治体で不正配管等により下水道料金を免れた例を具体的に教えていただきたい。

答 現在のところ所沢市においてはな
い。他の自治体では平成22年7月に埼玉県行田市、千葉県千葉市のスーパー銭湯において不正配管が判明し、下水道使用料の不正未払いが明らかになった事例がある。

◎市道路線の廃止について

市道1-768号線について、交換申

請がされたことを受け、道路法に基づき市道路線を廃止するものです。

問 道路の廃止といっても、市民にはわかりづらいと思われる。今回の案件については、隣接して開発計画があるとのことだが、市民にとってのメリットを教えてください。

答 所沢駅東口の開発計画によると、現在4mの道路が7mとなる。この通路は全天候型となり利用者の利便性が向上すると考えられ、災害時には帰宅困難者の一時的な退避スペースとしての活用も期待できる。また、駅前にふさわしい商業施設やこれに付随する駐車場施設ができると聞いている。これにより利便性の向上、雇用の創出、来客数の増加による周辺への人の流れなどさまざまな有益な効果もたらされるものと考ええる。

◎市道路線の認定 5路線

◎市道路線の廃止 2路線



▲市道1-768号線(くすのき台)

6月定例会の動き

6月6日

本会議
常任委員長報告（特定事件）
提案理由の説明・議案説明

6月10日

本会議
議案質疑

6月11日

委員会
四常任委員会並行審査

6月13・16・17・18・19日

本会議
市政に対する一般質問

6月20日

委員会
建設水道常任委員会審査

6月26日

本会議
常任委員長報告

6月27日

本会議
討論・採決
追加議案の上程・採決
議員提出議案の上程・採決



▲軽自動車税の対象となる原付バイク

総務常任委員会

◎所沢市税条例等の一部改正

平成26年3月31日、地方税法の一部を改正する法律が公布され、法人市民税法人割の税率の見直し、軽自動車税の税率の見直し等が行われました。これに伴い、所沢市税条例等を一部改正するものです。

問 法人市民税の税率見直しに伴う歳入への影響は。また軽自動車税の税率の見直しに伴う増収見込み額について伺いたい。

答 法人市民税については、平成27年度で約1億4,800万円の減収が見込まれている。軽自動車税については、平成27年度で約3,000万の増収を見込んでいるところである。

問 法人市民税について、平成27年度は約1億4,800万円の減収とのことだが、平成28年度についてはいかがか。また所沢市にとってのメリットとデメリットをお示しいただきたい。

答 平成28年度以降は平年ベースとなるため、約3億5,200万円の減収と見込んでいる。税収が落ちるといふ点ではデメリットだが、今後交付税の中でどのような形になるかは今のところまだわからないため、メリット、デメリットは今後見えてくるものと理解している。



教育福祉常任委員会

◎所沢市入学準備金貸付基金条例の一部改正

高校、専門学校、大学等に入学する生徒や学生の保護者に対して行っている入学準備金の貸付について、保証人の住所要件を緩和することにより制度を利用しやすくすることを目的として、条例の改正を行うものです。

問 現行条例では市内に引き続き2年以上居住していることが保証人の条件であったが、今回、市長が特別な事情があると認められたときも保証人の要件として認められることとなった。これは具体的にどのような場合か。

答 条例に規定している者を保証人とすることが難しい場合において、都内在住の親を保証人として設定することなどを想定している。

◎平成26年度所沢市一般会計補正予算（第4号）

■（仮称）所沢市総合福祉センター（複合施設）整備事業

5,960万2千円
平成28年4月開設を目指し準備を進めています。本年度から平成27年度までの2か年継続事業として予定している本体工事について、公共工事設計労務単価の上昇及び資材高騰のため当初の予算額に不足が生じたことから、補正するものです。

問 継続費について当初予算は25億円、今回の見込額が28億円と約3億円の増額となっている。このようにせざるを得なかった理由をお聞かせいただきたい。

答 設計に関しては、所管の営繕課を通しコンサルタント会社に委託して進めてきたが、平成26年1月30日付けで国土交通省から送付された通知を受け、県の建築工事、電気設備、機械設備工事の各積算標準単価表が改定され2月1日より適用となった。これらをもとに営繕課にて設計書の単価を入れ替えたところ、当初は3億円以上の増額となったが、削減できるところを再検討し、今回の補正となった。



▲（仮称）所沢市総合福祉センター建設予定地（泉町）

市民環境常任委員会

◎所沢市地域がつながる元気な自治会等
応援条例の制定

自治会等の活性化を推進し、地域住民の自治会等への加入および参加を促進するために必要な事項を定め、誰もが安心して快適に暮らすことができる地域社会の実現に寄与することを目的として条例を制定するものです。

問 なぜ条例なのか。条例がなくても施策は行えるのではないか。

答 条例がなくても行える施策はあるが、根拠がなく、そのときの必要性で実施しているということになる。条例を作ることで、一定程度恒久的な効果が期待でき、市としての姿勢が明確になるという点において条例を作る意味があると考える。

◎専決処分の承認を求めることについて
(平成26年度所沢市国民健康保険特別会計補正予算(第1号))

平成25年度所沢市国民健康保険特別会計において歳入不足が生じ、平成26年度予算を繰り上げて充用するため予算の補正の必要が生じたが、市議会を招集する時間的余裕がないため、補正予算を専決処分したことについて報告し、承認を求めたものです。

問 当初歳入を見込んでいた国の財政調整交付金が来なかったことが繰上

充用の原因の一つとなっている。交付を受けるための選定に漏れてしまった要因の一つとして、「特定健康診査事業費を除く保健事業費の1人当たりの被保険者相当の決算額」が県平均以下となっていることがあるが、この項目については2年連続で基準を下回っている。その原因を伺いたい。

答 県平均以下になっていないことについては、平成23年度、平成24年度において県平均以上の市町村と比べ人間ドックの受診率がおおむね低いことが保健事業費の支出が低いことにつながり、要因の一つとなっているのではないかと思われる。

委員会付託を行わず
全体審議とした議案
(追加議案3議案)

◎固定資産評価審査委員会の選任に同意

- ・塩川 智子氏(小手指町/再任)
- ・小林美奈子氏(上安松/新任)

◎固定資産評価員の選任に同意

- ・栗原 祐治氏(中富南/新任)

議員提出議案

議員からは、「手話言語法制定を求める意見書について」の議案が提出され、可決しました。

諮問
産業廃棄物処理業計画書
(中間処分業)に係る意見

産業廃棄物処理業計画書(中間処分業)について県から照会があり、「ダイオキシンを少なくし所沢にきれいな空気を取り戻すための条例」に基づき、議会の意見を求める議案が提出され、意見を付しました。計画内容は、産業廃棄物処分業(中間処分)の新規許可で、事業計画者および計画地は、ミノワ工機株式会社、大字松郷151番45です。

意見

- 諮問第1号については、協議した結果、次のとおり意見を付すことに決しました。この諮問は、所沢市議会が制定した「ダイオキシンを少なくし所沢にきれいな空気を取り戻すための条例」第3条第1号の規定により当該事業計画について意見を求められたものであり、所沢市議会は、次のことを求めます。
- 1 周辺の良好な生活環境の維持と安全のため、事業者は関係法令に基づき、適切な対策を講じるとともに、保管基準を十分遵守すること。
 - 2 事業場内及び近隣周辺は、常に整理整頓に努め、清潔さを維持すること。
 - 3 施設にあつては、維持管理を徹底した上、安全性を確保し、環境保全対策に万全を期すこと。
 - 4 周辺住民との相互理解を深め、通学路等周辺地域の生活環境に十分配慮すること。

平成26年 第1回(4月)臨時会

市長提出議案5件を可決しました

平成26年第1回(4月)臨時会を、4月30日に1日間の会期で開催しました。

市長からは専決処分の承認を求める議案3件、国民健康保険特別会計予算1件、一般会計補正予算1件の計5件の議案が提出され、すべて可決しました。

■専決処分の承認(3件)

- 平成26年度所沢市国民健康保険特別会計暫定予算
- 所沢市税条例の一部を改正する条例
- 所沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

■予算

- 平成26年度所沢市国民健康保険特別会計予算
- 補正予算
- 平成26年度所沢市一般会計補正予算(第2号)

一般質問

6月定例会では、28人が一般質問を行いました。質問は各議員の多くの質問項目中、1項目だけが掲載されています。
なお、すべての質問項目は市議会ホームページでご覧になれます。



小児医療体制について

質問者 自由民主党・無所属の会 岡田 静佳

議員 所沢市市民医療センターで実施している小児深夜帯急患診療について、平成25年4月から日曜日を開始したことで、木曜日を除く週6日の実施となったが、夜間や休日に実施している小児初期救急医療体制整備への取り組み状況について、昨年度の実績ならびに今後の展望について伺いたい。

市民医療センター事務部長 市民医療センターでの平成25年度の実績は、深夜帯については受診者数が前年と比べて639名増の2,867名、小児急患診療の全体の受診者数は前年と比べて447名増の1万2,724名となっている。なお、この体制を維持していくには、診療にあたる医師や看護師の人員費ならびに施設の管理、受付業務に係る委託料等の費用がかかるが、受診者の診療報酬だけでは全てを賄えないため、市からの負担金を繰り入れて補填している。今後の対応については、引き続き、関係機関との連携協力により医師の確保を図りながら、安定的な運営に努めていきたいと考えている。

第3次所沢市障害者支援計画 新たな課題の位置づけ

質問者 公明党 西沢 一郎

議員 発達障害については、平成17年に発達障害者支援法が制定され支援体制が整い、平成22年には障害者自立支援法の一部改正で、発達障害についても障害者自立支援法のサービスが利用できるようになった。本市でも、市民医療センターで発達障害外来、教育センターで教育相談を実施しており、また、平成28年には（仮称）所沢市総合福祉センター内に子ども支援センターが設置され、今後いろいろな体制整備が行われていくと思われる。第3次計画には、発達障害の施策をどのように位置づけていくのか。
福祉部長 平成23年8月に障害者基本法の改正が行われ、障害者の定義が見直さ

れたことにより、発達障害は精神障害に含まれることが明確化された。発達障害は、障害の特性により、さまざまな場面において社会的な不適応が課題であることから、早期発見・早期療育を基本的な視点として、ニーズ調査の結果や障害者団体などからの意見を踏まえ、策定検討委員会において計画での位置づけを検討していききたいと考えている。

サイレントプアへの対応

質問者 民主ネットリベラルの会 末吉美帆子

議員 NHKのドラマでは、ごみ屋敷の主、引きこもり、ホームレス、若年性認知症など、懸命に生きながらも現代の社会的孤立の淵に沈んだ人たちに手を差し伸べるコミュニケーション・ソーシャルワーカーの姿を描いていた。プロデューサーは、現代における貧困は単なる経済的貧しさだけでなく、地域における孤独や孤立こそ新しい今の時代の貧しさだと語っている。所沢市にコミュニケーション・ソーシャルワーカーはいるのか。また、その必要性についてはどう考えているのか。

福祉部長 本市では、所沢市社会福祉協議会で策定している第3次地域福祉活動計画の中で、地域福祉活動を支援する体制づくりの取り組みの一つとしてコミュニケーション・ソーシャルワーカーの配置が位置づけられており、平成26年6月から社会福祉協議会では職員を対象とした養成研修を実施していくことを確認している。養成研修終了後は、モデル地区を設けて、

1〜2名程度で地区を担当し、順次その地区を拡大していく方針であると聞いている。

どこでもMY病院

質問者 自由民主党・無所属の会 近藤 哲男

議員 市民が自分自身の医療情報をシステム上で管理し、これを医療や健康関連サービス事業者に提示できる環境を整備するというところで、どこでもMY病院の構想の導入について平成24年9月と平成25年3月議会において一般質問をした。その際の市の見解は、医療情報の取り扱いや電子データの管理については極めて機密性が高いものであり、慎重に取り扱うべきだと考えているため、国等の動向を注視し情報収集に努めていきたいというものだった。現時点で市としてどこでもMY病院の構想についてどう考えているのか。

健康推進部長 どこでもMY病院は、本人が医療や健康情報などを管理することができるので、健康への関心が高まることとが期待され、日常的な健康づくりの面でも効果があるのではないかと感じている。政府のマイナンバー等分科会では、個人情報保護に配慮した上で具体的な医療情報のデータベース化について継続して検討していくということなので、しばらくは国の検討状況とその結果を慎重に見極めていきたいと考えている。

切れ目のない子育て支援

産後ケアの充実

質問者 至誠クラブ 桑島 健也

議員 産後ケア等の支援事業については、経済的な補助ももちろんあるが、支援をすることにより、より利用しやすいようハードルを下げていくという側面もある。練馬区のような一定額の利用補助券、助産師ケア券の提供や静岡県静岡市で提供しているような産後ケア事業のショートステイ、デイケアへの補助、こういったものを所沢市でも予算化に向けて検討してはどうか。

健康推進部長 出産後の支援としては、出産育児一時金、児童手当、子ども医療費助成などの事業があるが、産後ケア等のサービス利用補助については、モデル事業を実施している市などの状況調査をして、今後研究していきたいと考えている。



プロジェクトチーム等の育成 職員力の向上

質問者 自由民主党・無所属の会 越阪部征衛

議員 所沢のまちをよく知り、好きになるという職員がたくさん必要だと思う。職員構成から見ると、市外在住の職員も多いと聞いている。所沢を知る、好きに

なる手だてとしての取り組みが必要であると思っている。庁内職員のプロジェクトチーム、研究チーム等がたくさんできるといいと思うので、その取り組みについて伺いたい。

副市長 プロジェクトチームは、課題の解決にとどまることなく、異なる所属の職員が交流し、さまざまな視点から検討を行うことで、職員の幅広いネットワークの構築や広い視野に立った判断力を養い、政策形成能力の向上を図る機会にもなっている。今後も、さまざまなテーマでプロジェクトチーム等を設置し、所沢のまちづくりに意気を感じる職員を育て、元気な市役所、市全体の活力につながるよう取り組んでいきたいと考えている。

市政トークの開催

今後について

質問者 自由民主党・無所属の会 青木 利幸

議員 去る5月31日に、小手指公民館分館と柳瀬まちづくりセンターにおいて市政トークが開催された。市長みずからが市民に対して直接意見することは、市民に市政を理解していただく、あるいは、市政に協力していただくために大変有意義であると思っている。今回初めての市政トークを終えてどのような感想持ったのか。また、今後の開催についての考えを伺いたい。

市長 市政トークなので、もともと伝えることをメインとしていたが、質疑の時間が短かった、もっと時間がほしかったという意見もいただいた。市の考え方を

直接伝える機会として、市政トークを開催してよかったと思っている。こうした機会は出来る限り増やしていきたいと考えており、今回開催した2か所以外の地区でも開催してほしいとの声もいただいていることから、第2回市政トークについてもぜひ実施したいと思っている。



▲市政トークの様子（柳瀬まちづくりセンター）

会計・出納業務の

民間委託拡大等

質問者 みんなの党 所沢 谷口 雅典

議員 足立区は、政策的経費の捻出、サービスの向上、業務効率のアップなどを総合的に考えて、公権力行使を伴う業務以外について、自治体が行う業務の中で専門性があるが、一定程度の定型な繰り返しを基本とする業務も民間委託する方針で、昨年、国民健康保険業務と会計・出納業務を委託した。今後、全庁的

な民間委託推進の方針に対して、会計・出納部門を所管する部門としては、どのように対応していく考えなのか。

会計管理者 これまでも本市では行政改革について民間委託も含め全庁的な方針のもとに進められてきたので、今後の取り組みについても、同様に、まずは基本的な考え方を全庁的に議論していくことが肝要ではないかと考えている。

投票機会の確保と拡大について

質問者 公明党 福原 浩昭

議員 国においては、昨今の投票率の低下対策として、期日前投票の時間延長や1か所できできない投票を区割りに左右されない自宅から近い投票所、また、駅前に投票所を設置していくなどの議論も始まり、積極的な投票機会の拡大が推進されていると思う。市の実態調査の結果を参考に、投票率のアップと市民サービスの向上に向けたこれからの投票機会の確保と拡大についての見解は。

選挙管理委員会委員長 期日前投票所の増設等による投票機会の確保については、本市に類似した規模の他自治体の期日前投票所の設置の経緯や考え方、事務従事者や運営経費などの項目について実態調査を実施した。その結果によると、多くの自治体で増設に要する経費や人員確保などが大きな課題とされている。これらなることを踏まえ、本市全体の配置バランスなども考慮し、総合的な検討を進めているところである。

女性・子育て支援 メンター共有制度の活用を

質問者 公明党 亀山 恭子

議員 埼玉県が実施しているメンター共有制度は、知識や経験豊かな先輩(メンター)が後輩に対してキャリア形成や仕事と子育ての両立、仕事の仕方などについての相談に応じるというもので、働く女性の育成に活用されている。女性が管理職になることをためらわないようにするためにも、メンター共有制度を活用してはどうか。

総務部長 現在、女性職員向けのキャリアアップなどの研修の機会は十分ではない状況にあることから、本市の女性職員がこのメンター共有制度を利用することで、キャリアアップへの不安が解消され、意識向上につながることを期待できる。今後は、「働く女性応援講座」に関する情報を庁内に発信するとともに、女性職員が受講しやすい環境の整備を心がけていきたいと考えている。



市内人口の変化 世帯数の分析を

質問者 みんなの党 所沢 松崎 智也

議員 埼玉県の人口の推計ツールによる2030年の所沢市の人口は約32万6千人である。一方、市の政策をみると、街

づくり基本方針では20年後に目指すべき像として34万人の都市を維持することを目標とすると書かれている。埼玉県の推計との差1万4千人を転入や出生で増え見込まなければいけない。さらに魅力的な都市にしていかなければいけないということ、世帯数を分析し、その結果を踏まえ、具体的な政策、施策に反映させていくということが重要だと思うが、どう考えるか。

経営企画部長 市としても、人を呼び込むであるとか、所沢に定住をさせていくといったさまざまな施策等を行っていきたいと考えている。今後、世帯数の分析を十分行いながら、さまざまな政策、施策に落とし込んでいきたいと考えている。

災害対策本部となる市庁舎に 地下水の活用について

質問者 公明党 植竹 成年

議員 千葉県松戸市では、市庁舎の防災機能強化につながり、年間800万円というコスト削減にもつながることから、地下水を活用したシステムを導入したとの話である。本市でも庁舎敷地内と同じようなシステムを整備するとなった場合、井戸を掘り上げることが可能なのか。もし可能であれば、災害対策本部となる庁舎の防災機能強化、さらにコスト削減に向けた取り組みとして、地下水を活用するシステムの導入について積極的に検討すべきと考えるが、見解は。

危機管理監 井戸の掘削については、一定の基準、要件を満たすことで、技術的

には可能である。災害時における水の確保は、防災対策上きわめて重要であると認識しており、地下水の活用も有効な手段であると考えているが、システムの導入に係る財源の確保や費用対効果、庁舎管理上の課題なども想定される。現在本市では、災害時における水の必要量は確保できているが、より安心感を得るための設置の必要も含め、関係部署とも協議しながら、他市の状況を調査したいと考えている。



国保の資産割 平等性について

質問者 自由民主党 無所属の会 安田 義広

議員 国民健康保険税の資産割は、市内に所在する固定資産のみに課税され、また、市内でも固定資産以外の財産を持っている人には課税されないという不公平感がある。経済的な負担能力に応じて賦課されるはずの応能割だが、資産割に関しては、算定根拠に不公平感があり、平等性が問われる。市外に所有の固定資産や固定資産以外の資産に課税されない理由について伺いたい。

市民部長 国民健康保険税を課税する市町村が当該市町村の区域外に所有する固定資産を全て捕捉することは困難なため、課税市町村の区域内に所在する固定資産

に係る固定資産税額についてのみ、資産割の対象としている。また、地方税法に、資産割については固定資産税額または固定資産税額のうち土地及び家屋に係る部分の額に案分して算定すると規定されていることから、固定資産以外の資産に対しては資産割を課税できないこととなっている。

東部クリーンセンター焼却炉 管理の課題と委託料の適正化

質問者 日本共産党 城下 師子

議員 東部クリーンセンター2号炉のダイオキシン類の排ガス自主基準値超えが起り、プラントの監視や監督の体制等を所沢市がきちんと調査していくという立場が問われてきたと思う。監視体制を強化するという意味でも、市による業務内容のチェック、一括発注の費用対効果、業務の安全・効率面からも、今の一括委託のあり方が適正なのかをきちんと精査していくべきだと思うが、見解を伺いたい。

環境クリーン部長 現在運転委託や法定点検等委託については、性能保証の観点から、設計施工したプラントメーカーなどに委託しているが、特別高圧受変電設備や計量器などは、通常の入札を実施している。監視監督業務などについては、性能保証の観点から、プラントを熟知したメーカーに委託することが現在是最善と考えているが、今後他の自治体の状況などを調査していきたいと考えている。

三富新田の世界農業遺産登録

質問者 民主ネットリベラルの会 石本 亮三

議員 6月5日付け読売新聞埼玉版の記事では、「三芳町は中富、下富のある所沢市とも連携し三富新田の保全を目指したいとしている」と書かれており、この話が三芳町主導で進んでいるという印象を持っている。当然、三富新田は三芳町と所沢市が連携しなければ成立しない話である。三芳町との連携、やりとりはどのようになっているのか。

産業経済部長 三芳町との連携、やりとりについては、必要に応じて、三富地区内の中富、下富に関する各種データなどの情報提供、認定に係る視察対応などで三芳町に協力してきたものである。

ゴミ減量化に向けた課題は

質問者 自由民主党・無所属の会 大館 隆行

議員 現在、本市のゴミ分別は9分別だが、市民の協力を得ながら細かな分別に取り組むことで着実に「ゴミ減量や資源化を進めている」と認識している。一方、毎年、清掃行政には大変多くの税金が投入されており、先日公表された環境省の平成24年度実績一般廃棄物処理事業実態調査では、「ゴミ処理に係る費用は県内で上から3番目となっている。清掃行政の本旨はゴミ減量と思う。現時点でのゴミ減量に向けた最も大きな課題は。

環境クリーン部長 本市の年間総ゴミ量

は、近年は減少傾向から横ばいとなっており、依然として燃やせるゴミには、雑がみや古着・古布といった資源化できるものが多く混ざって排出されている。資源として利用できるものが正しく分別・排出されれば、ゴミの焼却量は減少し、リサイクル率も向上することから、今以上に分別の理解、協力をいただくことが課題の一つと認識している。なお、5月から、ゴミ分別の新たな周知方法としてスマートフォン専用のごみ分別アプリ「わけてコっ!」を無料リリースし、啓発を進めているところである。



▲ごみ分別アプリケーション「わけてコっ!」

交通政策

ところバス路線の見直し

質問者 日本共産党 小林 澄子

議員 ところバスは、高齢者が引きこもりにならず気軽に外出する機会を提供することも目的の一つであると思う。老人

福祉センター4施設のうち1施設うしぬま荘が、老人憩の家8施設のうち2施設さくら荘、とめの里はバス停から遠いのではないかと。ところバスの全老人福祉センター、老人憩の家への経由と増便について伺いたい。

市民部長 指摘のあった施設については、それぞれがバス停留所から500m前後の距離に位置していると認識しているが、ところバスの運行においては、平成25年10月に市民要望や乗降量調査の結果等を踏まえコースの見直しや運行時間の改正を行ったばかりなので、今後の見直しの際の参考とさせていただきますと考える。



学童保育需要と今後の方針

質問者 日本共産党 矢作いづみ

議員 これまで学童保育は基準もなく、市としての方針もない中で個々の状況に対応してきたために学校ごとに利用できる体制も違っている。学童保育は学校内またはできるだけ学校の近くに、希望する全ての子どもが保育を受けられる体制を市がつくるべきと考える。各学校区ごと、希望者が学童保育に入れる体制をつくることに対する見解は。

こども未来部長 児童クラブの受け入れについては、これまでも学校区ごとに施

設整備を行ってきたが、地域によっては、大型マンションの建設などにより急激な増加も想定される。また、逆に子どもの数の減少により入室児童数が減少する地域も見込まれることから、今後についても地域の实情に合わせて検討すべきものと考えている。

着衣泳の検定実施について

質問者 至誠クラブ 秋田 孝

議員 みずからの命を守ることはもとより、水着と服を着たままとの違い、服を着たまま泳ぐことがどれほど難しいかといったことを体験しておくことは、大変重要と考える。実際に着衣泳を行っていない学校では行っていた方がいいと思う。所沢市教育委員会独自の、例えば「着衣泳検定」というように、学年に応じた目標を定め検定を行うことを提案するが、どうか。

学校教育部長 着衣泳の学習は、児童生徒がみずからの能力を客観的に知ることにより、危ないところには近づかないことや、不慮の事故に遭ったときの落ちついた対応の仕方など、みずからの命を守るための学びになると考えている。教育委員会としては、今年度、一般社団法人水難学会の協力を得て、小学校教員向けに着衣泳実技指導講習会を初めて実施する予定である。また、検定制度については、水難学会からの指導、教職員からの現場の声を総合的に勘案し、今後の研究課題とさせていただきます。

小・中学校管理規則

学期制度と校長の権限

質問者 民主ネットリベラルの会 赤川 洋二

議員 所沢市立小・中学校管理規則の第2条には学期制が書かれており、第3項は、「前項の規定にかかわらず、教育上必要があると認めるときは、校長は、教育委員会の承認を得て、学期を変更することができる」という条文である。第3項の校長の権限の条文が導入された経緯と理由について伺いたい。

学校教育部長 所沢市立小・中学校管理規則第2条第3項が定められた経緯は、平成10年9月の中央教育審議会の「今後の地方教育行政の在り方について」という答申において、今後は教育行政の地方分権および学校の自立性・自主性の確立が必要、重要とされてきたことを受け、本市においても、学校の裁量を拡大する方向で検討を行い、追加したものである。なお、この規定は、原則上の規定に対する例外規定であり、平成16年の2学期制導入時に定められたが、適用された例はない。

地域若者サポートステーションの設置について

質問者 民主ネットリベラルの会 島田 一隆

議員 さいたま市の地域若者サポートステーション、いわゆるサポステには、所沢市や日高市、入間市など西部地域からの若者も非常に増えているという話を聞いている。武蔵野市の若者支援事業

では、武蔵野市民に限らず、近隣在住の若者からの相談もあれば受けるとのことだった。地域にも貢献できるサポステのサテライトを設置することが可能であるか、検討できないか。

市長 地域若者サポートステーションとそこから派生するサテライトは、国の事業として設置されるものであり、仮に市が設置を希望する場合には、それなりの費用負担と市内関係機関の連携に係るしつかりとした体制づくりが必要となる。社会生活を営む上で困難を持っている若者に対する支援については、市内の密接な連携はもちろんのこと、こうした課題に熱心に取り組むNPOなどの団体との関係づくりも大変重要と考えており、これも未来部においても研究を進めているところである。今後、(仮称)総合福祉センターの開設に向けた事業展開や現下の財政状況など総合的に勘案しながら、本市における支援策のあり方について引き続き検討していきたいと考えている。

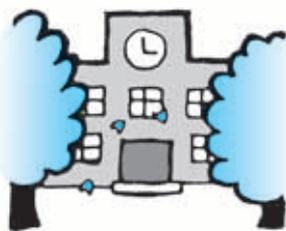
狭山ヶ丘中学校のエアコン問題

質問者 共生 脇 晴代

議員 狭山ヶ丘中学校の校長は、生徒の健康を保護する上で、過去2年間エアコン設置の要望を続けている。過去の一般質問に対して教育長が普通教室のエアコン設置はしないという形で答弁されたのは記憶している。所沢市としては、普通教室にエアコン設置をしないと決定しているため、木質化事業の検討の中で、エ

アコンを設置することにより木質化の校舍の効果がより増すなど、そういった検討は全くなかったのか。

教育総務部長 小・中学校普通教室のエアコン設置については、騒音の実態、環境面、子どもの学習面、財政面、そして生活のあり方等を総合的に考慮して設置しないと判断したもので、一方、木質化事業については、教育環境を改善するために今年度から着手した事業である。普通教室へのエアコン設置と校舎の内装木質化事業は別物と捉えており、校舎の木質化事業においてエアコンの設置をどうするかという検討は行っていない。



所沢インターチェンジ周辺のまちづくり

質問者 至誠クラブ 杉田 忠彦

議員 関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区については、都心から25kmか

ら28km圏内に入っており、土地利用転換推進エリアの一つにも入っている。まだ位置づけられたところということで、いつからというのはこれからだと思うが、具体的にこの地区の土地利用転換に向けてどのように進めていくのか。

街づくり計画部長 関越自動車道所沢インターチェンジ周辺地区は、所沢市街づくり基本方針において、関越自動車道と国道463号、国道254号の結節点という広域交通の利便性が高いことなどから、必要な基盤整備や企業ニーズを踏まえた産業系の土地利用を目指すとしている。基本方針において大まかな位置は示したが、現時点では具体的な検討はされていないことから、今後、企業ニーズ、地元地権者の意向を把握しながら進めていくものと考えている。

公園を健康増進の場に

健康遊具の設置を

質問者 日本共産党 平井 明美

議員 最近、ラジオ体操に参加したり、公園に集まる高齢者も多く、健康遊具の設置を求める声もあると聞く。市内にも何か所かあると聞いたが、グリップを握って腕立て伏せができるアームトレーナー、カーブに沿って背中を伸ばせる背伸ばしベンチなどの遊具があり、高齢者がここに来ることによって体を健康に保っているという話もある。健康遊具の設置についての条件や基準はあるのか。また、公園の設置条件や要望があれば、設置できるのか。

建設部長 健康遊具に限らず、一般的に、公園における遊具の設置については、利用のための安全領域の確保が必要となり、遊具を追加して設置する場合は、公園の面積や既存の遊具の配置状況により、安全領域が確保されることが条件になると考えている。現在、公園の遊具の設置については、老朽化した遊具の補修や交換を優先的に進めている。新たに健康遊具を設置した場合に、どれくらい利用されるかなど、地域ニーズなども把握する必要があると考えている。

旧市役所跡地の利用

質問者 自由民主党・無所属の会 浜野 好明

議員 街づくり基本方針の中心市街地の活性化に、銀座通りを軸とする中心市街地の再生を図るため、再開発などと連携し、歩行者や買い物客にもぎわい、うるおいが感じられる環境整備とともに、駐車場の整備など商業環境の向上に努めるとある。旧市役所跡地の現状と利用終了の時期とその後利用計画を伺いたい。
財務部長 現在、市役所旧庁舎については、市内の公共的団体が10団体および市役所内の10課が暫定利用している。しかし、旧庁舎は昭和43年に建設された施設で、建物、設備ともかなり老朽化しており、使用に当たっては課題も多くある。したがって、今後の利用については、庁内関係所管等との協議のうえ、市としての方向性を全庁的に検討していきたいと考えている。



▲旧市役所庁舎

所沢カルチャーパークの整備 市民の期待する公園について

質問者 自由民主党・無所属の会 松本 明信

議員 所沢カルチャーパークの整備については、平成5年以来、順次計画の土地の購入には努力されてきていることは承知している。しかし、部分的に利用されているものの、市民はカルチャーパークについての認知が大変不足している。この買収が完了するのはいつごろになるのか、完了したときにどのようなところから整備されていくのか。自然公園の特徴をどう生かしていくのか。

建設部長 今後の用地購入計画と完成時期は、引き続き用地購入を進めるとともに、整備を行いながら、現在の事業期間の平成28年度の完成を目指している。具体的な内容は、農業体験施設やテントで宿泊できるキャンプ場、子どもたちがわくわくできるようなアスレチックなどを

整備していきたい。また、自然環境保全型公園として、訪れた方々には、昔ながらの循環型農業体験や樹林管理作業、野鳥や虫たちの観察、手軽な樹林の散策などを楽しんでもらいたいと考えている。

所沢駅西口まちづくり事業 公聴会の開催は

質問者 日本共産党 荒川 広

議員 国土交通省が平成25年7月に改正した都市計画運用指針の中で、公聴会、説明会の開催等ということが触れられている。住民が公開のもとで意見陳述を行う場と考えられるということで、都市計画への住民の参加がますます強まる中で、都市計画決定手続における住民参加の機会をさらに拡大していく観点から、説明とは別に公聴会を開催するべきであると言っている。このことについてどう考えるか。

街づくり計画部長 街づくり条例に基づく原案説明会は、説明会だけではなく、参加いただいた市民の方は、意見、質問等を述べる事ができる。また、その翌日から2週間縦覧を行うので、その中で市民から幅広く意見をいただくことができるものと認識している。市ホームページには縦覧期間中、縦覧において閲覧に供している図書を掲載して、市民の方に幅広くご覧いただけるようにしている。広報ところざわについては、紙面の都合がつくようであれば、事業の内容について、公表可能な時期に公表可能な範囲で掲載するようなことも考えてみたい。

工業活性化施策の推進

質問者 至誠クラブ 荻野 泰男

議員 工業立地に関して企業にPRするための宣伝素材ができたということで、その中で、所沢市独自の6つの支援制度が掲げられている。その6つ目に産業用地情報収集・紹介業務と書いてあり、市ホームページによると平成26年度中に事業開始予定とあったが、この事業の概要について伺いたい。

産業経済部長 産業用地情報収集・紹介業務は、現在、宅建業協会所沢支部と詳細について調整を行っているところであるが、概要は、市へ問い合わせがあった場合、希望する物件等を宅建業協会に伝えると、それに合致する物件を取り扱う会員を教えてもらい、その連絡先などを市から紹介するというものである。用地の紹介にとどまらず、市が産業用地取り扱いの窓口であるということを知り、効果もあると考えており、今後、立地に係る企業ニーズを把握するためには必要なものと考えている

本会議の会議録は、
市議会のホームページで
ご覧になれます。

所沢市議会トップページの
「会議録検索」をクリック
してご覧ください。

6月定例会の会議録は
8月下旬掲載予定です



議会報告会の

内容をお知らせします

議会をより身近なものに感じていただけるよう、議会情報を議員が直接、市民の皆さんに報告するとともに、頂いたご意見を市政に反映させるため開催しています。

平成26年3月定例会についての議会報告会を、5月14日に市役所旧庁舎ホールで、5月17日に中富南コミュニティセンターで、それぞれ開催しました。2日間で、65人の方にお集まりいただきました。

おまな質疑

問 校舎内装木質化事業については、委員会の中でどのような議論がされたのか。

答 木質化が、本当に学校教育の施設のあり方としていいものなのかどうかということを吟味した。効果は、数字で表れるばかりとは限らない。精神的なもの、心理的なものなどもこれからは大切なものだろうということも言われているので、長い時間をかけてみていきたいと思ってる。

問 歯科口腔保健の推進に関する条例が委員会で提出されたが、歯周病なども市民医療センターで無料検診や指導ができると思うがどうか。

答 今回制定された条例に基づいて、今後、市の方でも具体的な検討があるかもしれないが、今のところされていない。



▲市役所旧庁舎ホール

問

問 児童クラブの保育料については法改正による見直しがあると認識しているが、料金の不平等感が賛成の理由というのは違うのではないか。青少年課が運営するということが、利用者の声を聞かずに強行的に決めてしまう所に任せることに不安がある。賛成した議員に対し、実のある賛成理由を伺いたい。

答 中富児童クラブが学校から遠く、安全面での不安があり移転の検討がされていたが、費用面等を鑑みて学校の教室を利用することとなった。また児

童クラブは市長部局、ほうかごところは教育委員会の所管となっていることから、これらを直営で運営して様子を見るもだと理解している。これからのことについては今後の課題である。ただ話の進め方については、もう少し丁寧に進めた方がよかったと感じている。

問 予算特別委員会を設置したことには印象的なことである。常任委員会で否決、修正案が出されそれも否決され、夜中の本会議まで傍聴したが、これをどのように市議会として評価しているのか。

答 今後、議会運営委員会の閉会中の審査で、予算特別委員会の検証を行う予定である。修正案が提出されたことについては、議会が活性化してきたということだと思ふ。

問 包括外部監査の休止の理由がわからない。包括外部監査の報告書を見たがとてもいい内容だった。これをなぜ止めるのか。どのような議論があったのか。

答 総務常任委員会の質疑の中では、どのように総括されているのかというところが議論になった。その中で、市としては一定の役割は終えた、また、個別監査や外部評価など外部監査に替わるものもあるという回答があった。今回休止してまた復活するのかという議論もあったがその場合は条例の改正が必要になってしまう。また費用対効果の観点から2千万円以上の効果を上げているという意見もあった。



▲中富南コミュニティセンター

おまな意見

・市議会ホームページ等で委員会の視察報告を行っているが、市民が理解できるような記録の残し方をするとともに、視察結果を市政に活かしてほしい。

・議会報告会について、ホームページが有効に使われていない。広報の方法を改善してほしい。

・ところバスについて、全ての老人福祉施設を通った方がいいのではないか。特に高齢者の方について、路線バス会社に対して、ところバスと同額で行けるよう要望して欲しい。

・今回の市議会だよりを見ても、市議会が夜中まで行われたという記載もないので、その辺をうまく書くことで、もっと見てもらえる、面白い市議会だよりになるのではないかと。

※質疑・意見については一部の要旨を掲載しています。全容は市議会ホームページでご覧いただけます。

※次回の議会報告会は11月に開催します。

議員の紹介

●任期は平成27年4月30日までです

21	自由民主党・無所属の会 やすだ よしひろ 安田 義広 ③ 無所属 上安松521-1 04(2995)4446		26	自由民主党・無所属の会 おさか べ せい え 越阪部 征衛 ④ 自由民主党 大字牛沼313-6 04(2995)1777		31	自由民主党・無所属の会 いし い ひろし 石井 弘 ② 自由民主党 狭山ヶ丘1-3003-109 04(2948)8586	
22	自由民主党・無所属の会 なか たけし 中 毅志 ③ 無所属 三ヶ島5-1262-1 04(2938)5251		27	公明党 むらかみ ひろし 村上 浩 ③ 公明党 上新井1-28-11 04(2928)5264		32	自由民主党・無所属の会 はまの よしあき 浜野 好明 ④ 自由民主党 北岩岡40-7 04(2942)4917	
23	自由民主党・無所属の会 おおだち たかゆき 大館 隆行 ② 無所属 小手指元町3-26-16 04(2949)7160		28	公明党 かめやま きょうこ 亀山 恭子 ① 公明党 東所沢3-33-12 04(2008)1907		34	至誠クラブ くわはた けん や 桑島 健也 ③ 無所属 緑町1-6 15-107 04(2921)8248	
24	至誠クラブ おぎの やすお 荻野 泰男 ② 無所属 糎谷1746-1 04(2949)6735		29	公明党 ふくはら ひろあき 福原 浩昭 ② 公明党 東狭山ヶ丘6-2800-5 04(2922)6973		35	至誠クラブ なかむら とおる 中村 太 ③ 無所属 東所沢和田1-18-2 04(2945)6313	
25	至誠クラブ すぎた ただひこ 杉田 忠彦 ② 無所属 坂之下245-1 04(2944)3537		30	自由民主党・無所属の会 おかだ しずか 岡田 静佳 ③ 無所属 小手指町1-30-20 04(2921)7533		36	至誠クラブ あきた たかし 秋田 孝 ④ 無所属 旭町12-15 04(2993)4622	

※欠員 1人

永年にわたり市政振興に尽力した議員に対し、全国市議会議長会、埼玉縣市議会議長会より表彰があり、6月定例会議場で表彰状の伝達がありました。



●表彰された議員

(15年在職)

- 城下 師子 議員
- 越阪部 征衛 議員
- 浜野 好明 議員
- 久保田 茂男 議員
- 秋田 孝 議員

(10年在職)

- 矢作 いづみ 議員
- 赤川 洋二 議員
- 浅野 美恵子 議員
- 桑島 健也 議員



永年勤続議員が
表彰されました

議会の構成／委員会

◎=委員長 ○=副委員長

常任委員会	議会運営委員会	広聴広報委員会
建設水道常任委員会		
道路、都市計画、市営住宅、再開発、区画整理、公園、上下水道等に関するものを審査します。	議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等、議長の諮問に関する事項を調査します。	議会の広聴広報及び議会図書室の運営について協議又は調整を行います。
◎福原 浩昭 荒川 広 植竹 成年 杉田 忠彦	◎吉村 健一 荒川 広 城下 師子 青木 利幸 西沢 一郎 桑島 健也	◎末吉美帆子 脇 晴代 入沢 豊 石本 亮三 荻野 泰男 浅野美恵子(議長)
○松崎 智也 石本 亮三 松本 明信 桑島 健也	○松本 明信 島田 一隆 谷口 雅典 石本 亮三 安田 義広 中村 太	○杉田 忠彦 矢作いづみ 青木 利幸 西沢 一郎 福原 浩昭 中 毅志(副議長)

議員の紹介

任期は平成27年4月30日までです

項目の見方								
議席番号	会派名・当選回数 氏名・住所・電話番号							
		7	日本共産党 しろした のりこ 城下 師子 ④ 日本共産党 中富南4-28-2-208 04(2942)9456		14	民主ネットリベラルの会 いしもと りょうそう 石本 亮三 ② 民主党 下富1209-16 04(2942)9688		
1	共生 わき はるよ 脇 晴代 ④ 無所属 三ヶ島1-119-5 04(2948)7387		8	日本共産党 こばやし すみこ 小林 澄子 ③ 日本共産党 泉町1819-3 04(2928)2798		15	民主ネットリベラルの会 すえよし みほこ 末吉美帆子 ② 市民ネットワーク 小手指町3-20 Q-211 04(2949)4317	
2	日本共産党 やさく 矢作いづみ ③ 日本共産党 中富南2-14-12 04(2943)3633		9	日本共産党 ひらい あけみ 平井 明美 ⑦ 日本共産党 西狭山ヶ丘1-3118-17 04(2948)6077		16	至誠クラブ あさのみ えこ 浅野美恵子 ③ 無所属 北秋津876-3 H-204 04(2995)1463	
3	日本共産党 あらかわ ひろし 荒川 広 ⑧ 日本共産党 下安松496-16 04(2944)6208		10	みんなの党 所沢 たにくち まさのり 谷口 雅典 ① みんなの党 若狭1-2961-1-213 04(2941)5111		17	公明党 よしむら けんいち 吉村 健一 ② 公明党 上安松1024-62 04(2993)0028	
4	民主ネットリベラルの会 しまだ かずたか 島田 一隆 ① 民主党 星の宮1-8-11-105 04(2930)4502		11	みんなの党 所沢 まつぎき ともや 松崎 智也 ① みんなの党 北秋津511-21 04(2008)1410		18	公明党 うえたけ なりとし 植竹 成年 ① 公明党 けやき台2-6-1-203 04(2925)6736	
5	民主ネットリベラルの会 あかがわ ようじ 赤川 洋二 ③ 民主党 若狭3-2383-25 04(2947)3966		12	自由民主党・無所属の会 あおき としゆき 青木 利幸 ① 無所属 北岩岡554-1 04(2942)1019		19	公明党 にしざわ いちろう 西沢 一郎 ② 公明党 三ヶ島5-2058-10 04(2947)6991	
6	自由民主党・無所属の会 いりさわ ゆたか 入沢 豊 ① 無所属 山口5026-3-44-3-401 04(2968)3952		13	自由民主党・無所属の会 こんどう てつお 近藤 哲男 ① 無所属 北所沢町2242-18 04(2942)8817		20	自由民主党・無所属の会 まつもと あきのぶ 松本 明信 ① 無所属 東所沢5-15-2-703 04(2945)2675	

議会の構成 / 委員会

◎=委員長 ○=副委員長

常任委員会		
総務常任委員会	教育福祉常任委員会	市民環境常任委員会
市政全般の企画や調整、財務、市税、契約、防災等に関するものを審査します。	小・中学校の教育、公民館、図書館、福祉、保健、医療等に関するものを審査します。	環境対策、ごみ対策、リサイクル、商業、農業、観光、交通、国保年金等に関するものを審査します。
◎大館 隆行 赤川 洋二 谷口 雅典 越阪部征衛 岡田 静佳	◎石井 弘 矢作いづみ 末吉美帆子 中 毅志 中村 太	◎荻野 泰男 脇 晴代 青木 利幸 吉村 健一 秋田 孝
○小林 澄子 入沢 豊 浅野美恵子 村上 浩	○亀山 恭子 城下 師子 西沢 一郎 浜野 好明	○島田 一隆 平井 明美 近藤 哲男 安田 義広

閉会中の議会活動

■教育福祉常任委員会

・特定事件「子ども支援について」
子ども・子育て支援新制度について
審査しました。

■市民環境常任委員会

・(株)ベルビア(所沢市北原町)の
視察をしました。

※委員会の会議録および視察概要は、
市議会ホームページの「委員会情報」
でご覧になれます。

▶市議会3ヵ月◀

- 4月14日 議会運営委員会
- 15日 代表者会議
広聴広報委員会
- 23日 代表者会議／議会運営委員会
- 4月30日 第1回臨時会
- 5月14日 議会報告会
- 16日 議会運営委員会
- 17日 議会報告会
- 19日 教育福祉常任委員会
市民環境常任委員会視察
- 19日 代表者会議
- 30日 代表者会議／議会運営委員会
- 6月3日 代表者会議
- 6月6日～6月27日 第2回定例会

次の定例会は
9月3日からの
予定です。



傍聴をお待ちしています。
本会議インターネット中継もご利用下さい。

可決された意見書

市議会では、意見書を行政機関等に提出することで、解決を求め、議会としての意思を表明します。

手話言語法制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく手や指、体などの動きや顔の表情を使う独自の語彙や文法体系を持つ言語である。手話を使うろう者にとって、聞こえる人たちの音声言語と同様に、大切な情報獲得とコミュニケーションの手段として大切に守られてきた。

しかしながら、ろう学校では、手話は禁止され、社会では手話を使うことで差別されてきた長い歴史があった。

今年1月20日、国連に障害者権利条約の批准書を提出し、日本もようやく140番目の締約国となった。障害者権利条約には、「手話は言語」であることが明記されている。

日本政府は、障害者権利条約の批准に向けて国内法の整備を進め、2011(平成23)年8月に成立した「改正障害者基本法」では「全て障害者は、可能な限り、言語(手話を含む。)その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定めた。

また、同法第22条では国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務付けており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子ども・大人ともに手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要であると考えます。

よって、所沢市議会は、政府と国会が下記事項を講ずるよう強く求めるものである。

記

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子ども・大人ともに手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

提出先 衆議院議長 参議院議長 内閣総理大臣
総務大臣 厚生労働大臣

編集後記

平成26年6月に発表された日本経済新聞社の「議会改革度ランキング」において、所沢市議会は、全国813市区議会中、第8位の評価をいただきました。

昨年度は、その「議会改革の先進地」として、36自治体の視察受入れをし、375人の方が所沢市を訪れてくれました。

今後も、この「議会改革」をさらに進めるとともに、「市議会だより」についても、さらに分かりやすい紙面となるよう努力してまいります。どうぞよろしく願います。(杉)

- 委員長 末吉 美帆子
- 副委員長 杉田 忠彦
- 委員 脇 晴代
- 矢作 いづみ
- 入沢 豊
- 青木 利幸
- 石本 亮三
- 西沢 一郎
- 萩野 泰男
- 福原 浩昭
- 浅野 美恵子(議長)
- 中 毅志(副議長)

連絡先

議会事務局調査担当
(TEL) 2998-9256
(FAX) 2998-9222